

1. 色彩景観づくりの必要性

私たちが生活を営むまちの中にはさまざまな景観要素があり、これら全てに色彩が存在しています。

かつての日本のまちなみ景観には、自然素材である地場の資材の活用により、地域の景観に馴染んだ色彩調和が保たれていましたが、今日の素材技術の発達によって景観材料が自然素材から人工素材へと多様化し、さまざまな人工色が氾濫するようになりました。しかし、現状は建築物などの色彩の扱い方が明確でないことからまちなみが雑然とし、また地域性のない画一化した景観となっている地域が少なくありません。

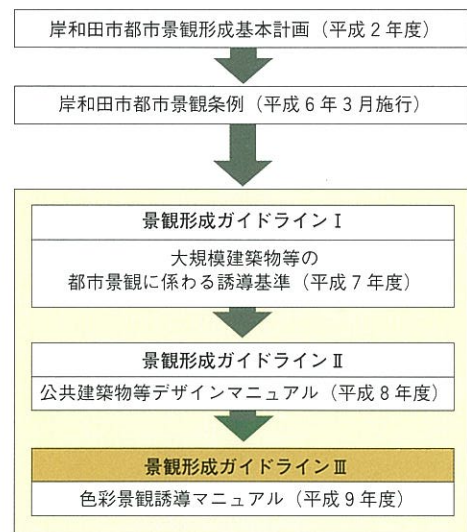
そこで、まちの中の色彩は「色彩景観」としてとらえ、地域の現状をふまえながら人工物の色彩のあり方や相互関係を検討し、地域に根ざした「色彩景観」を表現するための手法が求められています。



2. 色彩景観誘導マニュアルの目的と位置づけ

本市では、岸和田らしい都市景観の形成の実現を目指してさまざまな景観行政を進めています。平成2年度に「岸和田市都市景観形成基本計画」を策定、平成6年3月に「岸和田市都市景観条例」が施行され、その後、都市景観形成の先導的役割を果たす景観形成ガイドラインとして、平成7年度に「大規模建築物等の誘導基準マニュアル」、平成8年度に「公共建築物等デザインマニュアル」が作成されました。

岸和田市色彩景観誘導マニュアルは、これらの成果を受けてさらに景観行政を推進するものです。そして、岸和田の自然や風土に調和した魅力ある色彩景観形成を目的として、市職員のみならず市民及び事業者が色彩景観について十分理解し活用されるよう、色彩景観についてのとらえ方や、建築物等の色彩選定の際の目安となる手法をとりまとめたものです。



3. 色彩景観誘導マニュアルの構成

本マニュアルは、岸和田市らしい色彩景観形成に向けての手法として、右表で示した項目ごとによりわかりやすくとりまとめています。

第4章、第5章は、色彩を検討する際に活用する章です。第3章は色彩景観の基本事項となりますので、色彩を検討する際に、その他の章は必要に応じて参照して下さい。

項目	内容
第1章 色彩景観誘導マニュアル作成にあたって	本マニュアルの目的や位置づけ、構成についてとりまとめています。
第2章 岸和田市の色彩景観の現状	景観区ごとにどのような色彩があるかをとらえ、岸和田市全体の色彩の特徴をとりまとめています。
第3章 色彩景観の基本的とらえ方	色彩景観の基本事項として参照 色彩景観に向けての基本的なとらえ方をとりまとめています。
第4章 色彩景観形成の誘導基準	色彩を選定する際の目安として活用 岸和田市の望ましい色彩景観形成の考え方や、色彩構成要素ごとにカラーフレーム（色彩の考え方、色彩範囲）をとりまとめています。
第5章 色彩計画の進め方	色彩計画を検討する際の手順として活用 色彩計画の基本プロセスと、色彩を検討する際のチェックリストをとりまとめています。